

# 位置図

## 重要給水施設整備事業 高野町中沼配水管布設替工事



月単位の週休2日工事（発注者指定）  
情報共有システム活用工事

工 事 設 計 書 （ 金 抜 ）	
工 事 番 号	令 和 7 年 度 第 110 号
工 事 名	重要給水施設配水管整備事業 高野町中沼配水管布設替工事
路 線 名	市道高3-3号線
工 事 箇 所	会津若松市高野町大字中沼 地内外
工 種	水道施設

工事概要	当初	
工事日数	186日	
配水管布設替工 DIP(GX形)φ150mm	L=200.0m	
排水管工	2箇所	

起 工 理 由	本箇所は、本市重要給水施設配水管整備計画に基づき、本書のとおり配水管を布設替するものです。
仕 様	特記仕様書によること。
摘 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津若松市上下水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。また、工事内容の変更又は請負代金の変更があった場合、受注者である元請負人においては、変更等の経緯を踏まえた適正な対応が求められることについて留意すること。</li> <li>・会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。</li> <li>・不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。</li> <li>・請負金額が500万円以上の場合はCORINS（コリス）に登録すること。</li> <li>・工事用資材等の購入・調達にあっては、地産地消の推進に努めること。</li> <li>・この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。</li> <li>・この工事はI o T技術を活用した水道工事施工管理対象工事である。</li> <li>・この工事は管路設計付工事発注方式対象工事である。</li> <li>・この工事は受注者による仕切弁等操作対象工事である。</li> <li>・余裕期間（フレックス方式）設定工事であり、受注者は、公告で示した「全体工期」内で着手日及び完成日を決定することができる。この場合において、着手日は契約締結の日から起算して原則として90日を超えない範囲で決定しなければならない。</li> </ul>
当初設計年月	令和7年8月

# 特記仕様書

工 事 番 号 : 令和 7 年度 第 110 号  
 路 線 名 : 市道 高 3 - 3 号線  
 工 事 名 : 重要給水施設配水管整備事業 高野町中沼配水管布設替 工事  
 工 事 箇 所 : 会津若松市高野町大字中沼 地内外

- 1 本工事の施工にあたっては、「日本水道協会水道工事標準仕様書【土木工事編】（平成 22 年 3 月 31 日改訂）」及び「福島県土木工事共通仕様書（令和 7 年 1 月 20 日改正）」、設計図面にに基づき実施し、文書中福島県とあるものは会津若松市上下水道局と読み替えるものとする。
- 2 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
- 3 設計変更に係わる業務の円滑化を図るためのツールとして「会津若松市建設工事設計変更等ガイドライン※」を活用すること。※会津若松市ホームページ参照

## 第 1 章 一般共通事項

- 1 「日本水道協会水道工事標準仕様書（土木工事編）」及び「福島県土木工事共通仕様書」に対する特記事項は次のとおりとする。

### 1) 監督員による確認・立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

工 種	工事段階	頻 度	摘 要
起工測量	起工測量後	1 工事 1 回	施工延長 縦横断測量 受注者は既設埋設管路等と計画管路を適宜路面に表示し、監督員が立会時に確認する。
資材検査	資材搬入後	各資材 1 回	変更増資材も含む
指定仮設工	設置完了時	1 工事 1 回	使用材料、高さ、幅、長さ深さ、間隔等
管布設工	管布設完了後	200m 1 回	200m 以下の工事については、1 工事 1 回
管継手工	管布設完了後	200m 1 回	200m 以下の工事については、1 工事 1 回 継手チェックシート（上下水道局様式）により 検査
水圧試験	布設工事完了後	全線 1 回	試験前、試験後
分水建込工 （給水管）	施工完了まで	1 工事 1 回	密着コア確認・水圧テスト・水質確認
不断水工	施工完了まで	1 工種 1 回	穿孔コア確認・水圧テスト
現場密度	転圧完了後	1000 m <sup>2</sup> 1 回	上層路盤・下層路盤・路床毎の各層 20 m <sup>2</sup> 以下は確認立合を省略できる。
石綿セメント 管の撤去	撤去作業前	1 工事 1 回	立入禁止の措置・石綿ばく露防止対策等の現場 掲示・保護服使用の確認
完了検査	完成日前	1 工事 1 回	水道工事完了調書及び竣工図により、施工延長 等を確認、舗装縦横断測量（現況復旧の確認） 手直しが生じたときは再検査
その他	監督員の指示	必要都度	

- 2) 監督員による確認・立会の結果、不良箇所等が指摘された場合または不合格となった場合、受注者はその箇所を手直しするとともに再度、確認・立会を受けること。なお手直しに係る事前の手続きや費用等については受注者の負担とする。

## 3) 施工管理

施工管理（出来形・品質・写真）は、福島県土木工事共通仕様書及び会津若松市上下水道局水道工事施工管理基準によらなければならない。

## 4) 工程管理

工程管理については、月毎に工事履行報告書を提出し、工事の進捗を把握するものとする。また、計画工程より 10% 以上の遅れが確認された場合は、原因の究明と今後の対策について監督員と打合せを行うものとする。

2 受注者は当該工事を実施するにあたり、予め地下埋設物確認書において埋設物の有無の確認を行い地下埋設物確認書を提出すること。

## 3 暴力団関係者の排除

会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守するとともに、本市が発注する業務において排除措置対象者からの資材の購入等、同関係者への下請けの発注及び同対象者が関与する産業廃棄物処理施設の使用を禁止する。

## 4 デジタル工事写真の小黑板情報電子化

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後に監督員の承諾を得た上でデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事とすることができる。

## 第2章 総則

1 関連工事： ☒ 有・無

工事名	発注元	注意・指示事項
重要給水施設配水管整備事業（R6 補正）高野町中沼配水管布設替工事	会津若松市上下水道局上水道施設課	工程調整及び交通規制について十分打合せすること

2 支給材料及び貸与品： 有・☒ 無

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については下記のとおりとする。

支給品目	数量	引渡時期	引渡場所

3 建設副産物処理： ☒ 有・無

本工事にて発生する建設副産物については下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法等	積算上の施設※
アスファルト塊	( <input checked="" type="checkbox"/> 再資源化・中間・最終) 処理施設へ搬入	会津アスコン(株)
無筋コンクリート塊	( <input checked="" type="checkbox"/> 再資源化・中間・最終) 処理施設へ搬入	(有)古田骨材店
建設汚泥	(再資源化・ <input checked="" type="checkbox"/> 中間・最終) 処理施設へ搬入	(株)ミツワ 川田工場

※積算上の施設は積算上の明示条件であり、処理施設を指定するものではない。ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受け入れ拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

## 4 中間検査に関すること

工事の施工過程において適正な契約の履行を確保されているか、工事完成後不可視となる部分の施工精度及び品質管理、施工体制等を検査するために、中間検査を実施する場合があるので、発注者から中間検査を求められた際は、受注者は対応にあたるものとする。

5 工事現場管理： ☒ 有・無

交通誘導警備員は工事箇所に2人配置するものとし、のべ36人としている。なお、詳細については施工計画書に策定時に監督員と打合せを行うこと。

6 作業工程： ☒ 有・無

1) 本工事は昼間施工とし、時間帯は8：30～17：00までとする。（道路使用許可条件による）

2) 作業工程における注意事項：

定められた時間帯に作業が終了できない場合は、受注者は速やかに監督員に報告し、受注者及び監督員において会津若松警察署と協議するものとする。

3) 現道の使用規制について

現道は、片側交互通行及び通行止めにより本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 有・☒ 無                  年                  月                  日

工事を施工しない時間帯 有・☒ 無                  :                  ~                  :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐                                  に適用する。

7 仮設： ☒ 有・無

1) 指定仮設の有無 有・☒ 無

2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
		有・無	

8 工事における現場環境改善： 有・☒ 無

1) 当該工事で実施する現場環境改善は、下記の表の内容のうち原則として項目ごと（仮設備関係、営繕関係、安全環境改善、地域連携）に1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を選択し実施すること。

項目	実施する内容
現場環境改善 （仮設備関係）	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設、 4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）、2. 労働者宿舍の 快適化、3. デザインボックス（交通誘導員待機室）、4. 現場休憩所の快 適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全環境改善 （安全関係）	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、2. 盗 難防止対策（警報機等）、3. 避暑（熱中症対策）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表、4. デザイン工事看板 （各工事PR看板含む）、5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む）、 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、7. パン フレット・工法説明ビデオ、8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含 む）、9. 社会貢献

※積算上の条件明示であるが、当該工事の施工に伴い周辺地域や住民に対する貢献について配慮しイメージアップに努めるものとする。

9 工事名表示板： ☒ 有・無

本工事には県産木材を利用した工事名標識板を2基設置すること。

## 第3章 材料

1 本工事で使用する切込碎石は再生骨材（RC-40）、アスファルト合材は再生アスファルト合材で計上している。再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

- 2 地区から調達する土砂、碎石等及び仮設材等について、安定的な確保を図るために、地区外から調達せざるを得ない場合又は地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

#### 第4章 一般施工

- 1 建設発生土の処理： ☒ 有 ・ 無  
 1) 残土処理（数量： 118.5 m<sup>3</sup>） 積算上の運搬距離： 10.8 km  
 指定場所の有無： 有 ・ ☒ 無 捨土場所： \_\_\_\_\_ 地内  
 2) 建設発生土の運搬距離については上記のとおりとするが、これにより難しい場合は事前に監督員と協議すること。
- 2 購入土等  
 1) 購入土等の有無： ☒ 有 ・ 無  
 2) 購入土等の種類： 購入土（山砂） ・ 岩ズリ ・ その他（ \_\_\_\_\_ ）  
 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。  
 4) 購入土等が 1 工事あたり 1, 000 m<sup>3</sup> 以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。
- 3 舗装切断作業時に発生する排水の処理： ☒ 有 ・ 無  
 1) 受注者は、舗装切断作業に伴い切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、産業廃棄物（汚泥）として処理しなければならない。また、受注者は「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供するものとする。  
 2) 当該排水の処理に関し排水量、処分量に変更が生じた場合、受注者は排水量、処分量（産業廃棄物管理表（マニフェスト））等を取りまとめたうえ監督員と協議を行い設計変更の対象とする。  
 3) 当該排水の処理の運搬に関し、受注者自らが運搬することを想定しているが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。  
 4) 受注者は、当該排水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も当該排水と同様に吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに収集した粉塵については、適正な運搬・処理を実施すること。

#### 第5章 1日未満で完了する作業の積算

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」（以下「1日未満積算基準」と言う。）は、土木工事積算基準（福島県土木部）による。
- 2 受注者は、1日未満積算基準の対象となる施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。
- 3 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 4 受注者は、協議に当って1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合、災害復旧工事等で人工積算する場合、1 日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1 日未満積算基準を適用しない。

~~6 「施工箇所が点在する工事の積算」を適用する場合は 1 日未満積算基準において別箇所として扱う。~~

## 第 6 章 施工箇所が点在する工事の積算： 有・無

1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算基準と実際にかかる費用に乖離があると考えられるため、対象地区ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

2 本工事における共通仮設費の金額は、対象工区ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に対象工区ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域、施工時期等）については、対象工区ごとに設定する。

3 諸経費工種については、工事全体で一つ決定し全ての工区において同じ工種を設定する。

## 第 7 章 余裕期間設定工事

本工事は余裕期間設定工事である。

### 1 発注者指定方式

~~本工事は余裕期間（●日間）とする。~~

#### ~~1）着手届の提出~~

~~着手届は、着手後速やかに提出するものとする。~~

#### ~~2）コリンズ登録~~

~~受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。~~

#### ~~3）会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係~~

~~施王体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。~~

#### ~~4）その他~~

~~余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。~~

### 2 任意着手方式

~~受注者は契約締結日から余裕期間（●日間）内に着手日を任意に設定できる。なお、契約の締結時に「余裕期間利用に係る届出書」により、着手日（工事の始期）を通知すること。また、併せて工程表についても提出すること。~~

~~契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。~~

#### ~~1）着手届の提出~~

~~着手届は、着手後速やかに提出するものとする。~~

#### ~~2）コリンズ登録~~

~~受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。~~

#### ~~3）会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係~~

~~施王体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。~~

#### ~~4）その他~~

~~余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材~~



~~等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。~~

### 3 フレックス方式

受注者は発注者が設定した期限を超えない範囲かつ示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。発注者が設定した期限を超えない範囲かつ施工可能な余裕を持った工期設定とする。なお、契約の締結時に「余裕期間利用に係る届出書」により、着手日（工事の始期）及び完成日（工事の終期）を通知すること。また、併せて工程表についても提出すること。

また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

#### 1) 着手届の提出

着手届は、着手後速やかに提出するものとする。

#### 2) コリンズ登録

受注時の「コリンズ登録」は、着手後に監督員の確認を受け、着手後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。

#### 3) 会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱関係

施工体制台帳については、会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出するものとする。

#### 4) その他

工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。

## 第 8 章 週休 2 日工事 : ☒・無

1 本工事は、『会津若松市週休 2 日工事实施要領』の対象工事（発注者指定型）である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

※当初積算時に「月単位の 4 週 8 休以上」を確保する場合の補正を行っている。

## 第 9 章 建設現場等における遠隔臨場 : 有・☒無

1 本工事は、『会津若松市建設現場等における遠隔臨場に関する試行要領』の対象工事である。

2 受注者は、試行要領に定める事項について遵守しなければならない。ただし、試行対象外工事（無の場合）であっても、工事契約後、遠隔臨場の実施を希望する場合は、受発注協議の上で試行の対象とすることができるものとする。

※協議は、施工計画書提出までに行うこと。

## 第 10 章 建設工事情報共有システム（ASP） : ☒・無

1 本工事は、『会津若松市建設工事情報共有システム実施要領』の対象工事である。

2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

## 第 11 章 熱中症対策に関する現場管理費の補正及び工期の設定 : 有・☒無

~~1 本工事は、『会津若松市発注工事における熱中症対策に関する実施要領』の対象工事である。~~

~~2 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~

~~3 本工事は、猛暑による作業不能日数を〇日間見込んでいる。~~

## 第 12 章 水道工事

1 IoT 技術を活用した水道工事施工管理対象工事(以下、「IoT 対象工事」という。)

IoT 対象工事: ☒発注者指定型・受注者選択型・指定なし

1) 発注者指定型については、別紙 1「IoT 技術を活用した水道工事施工管理に係る特記事項」により施工すること。

2) 受注者選択型については、工事受注後、受注者の申し出により IoT 対象工事に変更することも



可能である。その場合は、契約後速やかに監督員と協議すること。

3) 受注者の申し出により IoT 対象工事と認められた場合の実施に係る費用については、変更契約時に計上するものとする。

4) 受注者の申し出により IoT 対象工事となった場合は、別紙 1「IoT 技術を活用した水道工事施工管理に係る特記事項」により施工すること。

2 管路設計付工事発注方式対象工事 : ☒・無

1) 管路設計付工事発注方式対象工事については、別紙 2「管路設計付工事発注方式に係る特記事項」により施工すること。

3 受注者による仕切弁等操作対象工事 : ☒・無

1) 受注者による仕切弁等操作対象工事については、「会津若松市上下水道局発注の水道工事における仕切弁等操作要領」及び別紙 3「会津若松市上下水道局 仕切弁等操作にかかる特記事項」により施工すること。

4 水道工事完了調書

水道工事完了調書は会津若松市水道工事完了調書によらなければならない。受注者は工事完成前に会津若松市水道工事完了調書を監督員に提出し、監督員による確認（完了検査）を受けなければならない。

5 施工上の指示

1) 本工事における施工時及び工程の指示は次のとおりとする。

ア ダクタイル鋳鉄管の溝切り加工については 1 種管を使用すること。またダクタイル鋳鉄管の切管切口部には必ず防食加工を施すこと。

イ ステンレス製ボルト及びナットについては、資材の品質確保のためその取扱いについて十分留意すること。

ウ 既設管等の穿孔にあたっては、作業に伴い発生する切粉を回収し適切に処理すること。

エ 管防護砂（山砂）については、良質なものを使用することとし埋め戻しの際は玉石等を取り除き、管や管被覆材、その他付属品に支障を与えないように施工すること。

オ 仮復旧については即日復旧を原則とすること。路面が仮復旧されていない状態（砂利状態）での交通開放は行わないこと。やむを得ない理由により仮復旧が出来ない場合は、受注者は速やかに監督員に報告し交通開放の方法について打合せを行うこと。

カ 受注者は現況舗装の測量調査等を実施し、舗装前に現状復旧が確認できる資料を監督員に提出すること。

6 公共基準点 : 有・☒無

本箇所においては公共基準点（基準点 No. \_\_\_\_\_）が設置されていることから会津若松市公共基準点管理保全要綱等に基づき、事前に現地確認するとともにその取扱について十分留意すること。

7 着工前に十分に事前調査を行い、埋設位置を決定すること。発注者が認めた試掘調査以外の事前調査に関する費用については受注者の負担とする。

8 建設工事公衆災害防止対策要綱（建設省経建発 1 号平成 5 年 1 月 12 日）に基づき、切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き掘削の深さが 1.5 メートルを超える場合には、原則として土留工を施すものとする。

9 受注者は工事区間において給水装置工事の申込みがあった場合は工程調整等に努めること。

10 配管技能者による施工

配管技能者による施工については次のとおりとする。（下請施工可）

- 1) 受注者は工事着手前に本工事に係る配管技能者を選任し、監督員の確認を受けなければならない。  
この場合においては登録証・認定書・修了書等の写しを施工計画書に添付するものとする。なお配管技能者については複数者の選任も可とする。
- 2) 配管技能者は下記に掲げる者とし主に現場作業において管の芯だし、据付接合、穿孔等に直接従事する者とする。
  - ア 不断水分岐工の経験を有する者又は不断水分岐工法に係る講習会等を受講した者。
  - イ 公益社団法人日本水道協会に配水管技能者として登録のある者又は日本ダクタイル鉄管協会主催の耐震継手に関する講習会等を受講した者。なお、登録種別は（一般・耐震・大口径）とする。
  - ウ 公益財団法人給水装置工事技術振興財団の給水装置工事配管技能者として認定されている者。
- 3) 受注者は確認を受けた配管技能者以外の者に管の芯だし、据付接合、穿孔等の作業をさせてはならない。
- 4) やむを得ない理由により配管技能者を変更する場合は、監督員の承諾を受けなければならない。

#### 11 給水装置工事： 有・無

給水装置工事の施工については次のとおりとする。（下請施工可）

- 1) 受注者は給水装置の新設、改造、修繕又は撤去の工事を行う場合には会津若松市水道事業給水条例第 10 条第 1 項の規定に基づき施工しなければならない。
- 2) 受注者は前号に掲げる工事を行う場合には、会津若松市指定給水装置工事事業者規程第 11 条第 1 項の各号に掲げる職務を行う給水装置工事主任技術者を選定し、工事着手前に監督員の確認を受けなければならない。この場合において当該主任技術者の免状等の写しを施工計画書に添付するものとする。
- 3) 受注者は配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施工する場合には、当該配水管その他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する者を実地に監督させること。
- 4) 給水管の施工については、設計図書および会津若松市給水装置工事施工基準書により行うこと。
- 5) 給水管の施工については、事前に所有者の了解を得るものとする。
- 6) 宅地内の復旧については、現状復旧を原則とする。なお、十分に調査を行うこと。
- 7) 宅地内の配管および土工については任意施工とするが標準図に示す条件と大きく異なる場合等は協議を行うこと。

#### 12 工事現場管理

受注者は施工に先立ち事前に関係機関との打合せを行い地元住民に周知した上で、工事に着手すること。また施工中においても関係機関・地元住民との連絡・周知等は密に行い誠意をもって対応すること。

#### 13 環境対策

本工事における環境対策については次のとおりとする。

##### 1) 共通事項

受注者は会津若松市が定める環境方針に賛同し、工事を施工すること。

##### 2) 排出ガス対策型建設機械

ア 工事の施工に使用する建設機械のうち次の建設機械については、排出ガス対策型建設機械の使用を標準とする。ただし、受注者の機械保有状況等により、やむを得ず使用できない場合は、監督員と協議すること。その結果、使用が不可能な場合は設計変更の対象とする。

・バックホウ・転圧機械・敷均機械・発動発電機（ディーゼルエンジン）

イ 受注者は施工計画書の使用する建設機械記入欄に、排出ガス対策型建設機械使用の有無を記入するとともに使用する機械が排出ガス対策型建設機械であることが証明できる資料を添付すること。

ウ 受注者は、工事完成時に排出ガス対策型建設機械による施工が確認できる写真等を提出すること。

## 14 建設発生土・建設副産物関係

## 1) 共通事項

受注者は本工事にて発生する建設発生土や建設副産物を法令の定めるところにより適正に処理しなければならない。またその処理結果については後日報告すること。

2) 石綿セメント管の撤去： 有・無

施工の際に石綿セメント管を撤去する場合は、石綿の処理に関する法令を遵守するとともに、厚生労働省発行の「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」により作業を行うこと。また石綿の処理に十分な知識及び技能を有し、かつ次の項目のいずれかに該当する労働者を配置し、その労働者の中から作業主任者を選任すること。

ア 特定化学物質等作業主任者技能講習会修了者（平成 18 年 3 月 31 日までに修了したものに限る。）

イ 石綿作業主任者技能講習会修了者

ウ 他の事業場において当該業務に関し、既に特別の教育を受けた者

エ 昭和 63 年 3 月 30 日付け基発第 200 号通達に基づく石綿除去現場の管理者に対する労働安全教育を受けた者

オ 労働安全衛生規則第 36 条、石綿障害予防規則第 27 条に基づく特別教育を受けた者

## 3) 会津地方振興局長への届出

福島県産業廃棄物処理指導要綱第 14 条に基づき、産業廃棄物の発生量が 100 立方メートル以上見込まれる場合は、産業廃棄物が工事より発生する日の 10 日前までに、土木建築工事実施（変更）届出書（様式 5 号）により、会津地方振興局長に届け出ること。

## 15 工事写真等の提出部数

1) 工事写真の提出部数については竣工書類として提出する他に下記のとおり提出するものとする。

ア 契約検査課提出用： 施工前・竣工 1 部

イ 道路管理者提出用： 施工前・竣工、工事経過（各工種の抜粋） 1 部

ウ その他提出用： 施工前・竣工、工事経過（各工種の抜粋） 1 部

なお、提出前に監督員と打合せを行うこと。

2) 竣工図の提出部数については竣工書類として提出する他に下記のとおり提出するものとする。

ア 道路管理者提出用： 1 部

イ その他提出用： 1 部

なお、提出前に監督員と打合せを行うこと。

3) 国及び福島県が管理する道路および河川の占用工事の場合は、以下について 1 部提出のこと。

（施工計画書、使用資材承認願、施工管理等の各種試験結果、出来形管理結果、品質管理結果、出来形図）

## 16 保存用竣工図等の提出

将来の水道施設の維持管理に資することを目的として、受注者は竣工検査日から 14 日以内に電子媒体を下記のとおり提出すること。

## 1) 提出内容

## ア 竣工図

図面の種類	位置図・平面図・横断図・管割図（全ての管材寸法を記載）・オフセット図（各種弁栓・止水栓・メーター位置・既設管との接続位置）・その他監督員が指示するもの
ファイル形式	PDF 形式
図面の大きさ	設計図と同様
留意事項	平面図の管路法線は赤で着色かつ太線で記載すること

## イ 工事写真

写真の種類	着手前竣工写真・出来形管理写真（施工状況写真）・その他監督員が指示するもの
写真の画素数	有効画素数は小黒板の文字が判読できることを標準とする。

ファイル形式	PDF 形式
提出（台紙）形式	工事請負契約規程様式による
留意事項	竣工時に提出する工事写真と同様のもの（写真の種類に記載のないものは除く）

#### ウ 水道工事完了調書

提出する種類	完了調書・メーター移設同意書・その他監督員が指示するもの
ファイル形式	PDF 形式
留意事項	竣工時に提出する工事完了調書と同様のもの

#### 2) 提出方法

電子媒体（CD-R 又は DVD-R）に記録し、ウィルスチェック後に提出すること。

#### 3) その他

スキャニングデータによる提出は原則不可（メーター移設同意書は除く）とする。なお作成方法等については監督員と打合せを行うこと。また、竣工図を CAD 形式で作成した場合は、竣工図を記録した電子媒体に、CAD ファイルを記録し提出すること。

### 第 13 章 その他

#### 1 地産地消の推進

工事用資材の購入及び調達については、規格・品質等条件を満たすものであれば、地元産品の活用に努めること。また下請工事の発注についても地元業者の活用に努めること。施工計画書の主要材料の項目に、工事用資材の産地（製造地）と購入先を明示すること。

#### 2 請負業者賠償責任保険の加入の義務付け

（本章はすべての工事に該当する）

不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類（証券等）の写しを監督員に速やかに提出しなければならない。

#### 3 受注者は監督員と連絡を密にし円滑に施工すること。また設計図書と相違する事項また疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議すること。

#### 4 会津若松市上下水道局のキャラクター使用の推進

本工事の工事現場等において会津若松市上下水道局のキャラクター「こしえるん」の積極的な活用に努めること。

#### 5 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等）を提出しなければならない。なお、工期の延長により保険期間に不足が生じた場合は、必要な更新を行い、それを証する書類（証券等）を監督員に速やかに提出しなければならない。

#### 6 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応については下記のとおりとする。

##### 1) 異常気象時等の対象

①大雨・洪水等の警報発令時（工事現場の当該市町村の気象警報を対象とする）

②震度 5 弱以上の地震時（工事現場の当該市町村の震度 5 弱以上を対象とする）ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

##### 2) パトロール等の実施及び報告の内容について

① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状態把握に努める。

② 休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班（巡視員）を出動させて巡回点検

(パトロール)を実施する。

- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜報告する。報告方法は、電話連絡のうえ必要に応じ任意様式にて報告書を作成すること。

### 3) 報告期限について

#### ①大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

#### ②震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。（被害等が甚大でパトロールが困難である場合などはこの限りでない）

## 7 再生資源利用計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は法令等に基づき再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 8 再生資源利用促進計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は法令等に基づき再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 9 会津若松市上下水道局水道技術における共同研究等への協力

本工事の工事現場等において、水道技術に関連する開発、評価、検証及び標準化等を目的とした調査、研究及び試験を実施することから、共同研究等に協力すること。

## I o T 技術を活用した水道工事施工管理に係る特記事項

## (趣旨)

第 1 条 施工情報システム（以下、「本システム」という。）の趣旨は、本工事における管路の継手管理と書類作成に係る業務を IoT による施工管理を行い、水道工事の効率化と最適化を図り工事品質の確保を維持するためかつ本市が水道管路の維持管理に活用するために行うものであり、受注者はその趣旨に従い、本工事を実施しなければならない。

## (基本事項)

第 2 条 次の基本事項に基づき工事を行うこととする。

- 1 本システムとは、工事箇所において継手の接合状態を計測、撮影する機器とそれらを記録したデータ等を管理するクラウドサービス及びデータを取得するための周辺機器等を指す。
- 2 受注者は本工事における品質管理のうち継手管理について本システムを用いて施工管理を行う。
- 3 本システムにて管理する継手管理については下記の管種及び継手形式、管口径の全箇所とする。
  - (1) 管種：ダクタイル鋳鉄管
  - (2) 継手形式：GX 形、NS 形、K 形、フランジ形
  - (3) 口径：φ75mm～φ450mm
- 4 受注者は、クラウドサービスへの接続に必要なユーザー ID を登録し工事を履行すること。なお登録したユーザー ID は発注者へ報告すること。
- 5 本工事における継手の接合状態を計測、撮影の方法は、本システムによる専用のアプリケーションを携帯端末及びタブレット端末からインストールして行うこと。また本システムで自動作成されたデータについては工事における品質管理として竣工時に提出すること。
- 6 本システムで使用する端末については受注者で準備すること。なお使用する端末のソフトウェアバージョンは監督員へ確認すること。
- 7 上記の受注者で準備する端末について、紛失又は施工中に誤って水没等により使用不可となった場合は受注者の責任で対応すること。
- 8 将来の水道施設の維持管理に資することを目的として、受注者は竣工検査日から 14 日以内に電子媒体を下記のとおり提出すること。
  - (1) 品質管理の提出書類（本システムで自動作成されたデータ）
    - ・継手チェックシート
    - ・継手施工写真
    - ・工事日報
    - ・管割図
  - (2) ファイル形式  
PDF 形式、Excel 形式、DXF 形式とする。
  - (3) 提出方法  
電子媒体（CD-R 又は DVD-R）に記録し、ウィルスチェック後に提出すること。
- 9 本システムの故障等、本システムの機能不能を起因とすることで、施工管理が困難となる恐れがある場合、または困難となった場合は速やかに監督員へ報告し、その対応について指示を受けること。なお受注者は、その場合でも現場の施工管理は別の方法で行い、水道工事の施工管理を怠ってはならない。
- 10 受注者は工事着手前に、監督員と本システムへの登録及びシステムの操作等に関して打合せを行うこと。

## (費用負担)

第 3 条 本システムに関する費用については設計で計上している。その内訳は次のとおりである。

- 1 本システムで使用するサイトチェッカーについては、工事期間中、発注者から受注者に貸与する。

- 2 上記の発注者から貸与する「サイトチェッカー」については、受注者が故意または取り扱い方法の不備により、紛失または破損した場合は受注者の責任で弁償すること。
- 3 本システムに係る「月額使用料（月単位）」は本工事の予定価格に計上している。なお本システムに係る費用及び内容については欄クボタのシステムによるものとする。
- 4 本システムに要する通信費、品質管理の提出書類にかかる費用は、本工事の予定価格のうち技術管理費に含まれる。

（モニタリング調査への協力）

第 4 条 受注者は、本システムの運用に係わるモニタリング調査等に協力すること。

（その他の事項）

第 5 条 その他の事項については、以下のとおりとする。

- 1 本特記に定めのない事項については、別途定める特記仕様書によるものとする。
- 2 ユーザー ID とアクセスパスワードについては、本市上下水道局が発注する工事以外で使用してはならない。また受注者の責任において、他人に知られることの無いようにその管理・保管方法について十分留意すること。
- 3 受注者は本システムの故障に備え、記録したデータ等のバックアップを常に行うこと。
- 4 ユーザー ID とパスワードについては、第三者に漏洩することのないよう厳重に管理すること。漏洩により第三者に使用されていることが判明した場合には、監督員へ速やかに報告すること。



## 管路設計付工事発注方式に係る特記事項

（適用）

第 1 条 本特記は 第 110 号 重要給水施設配水管整備事業 高野町中沼配水管布設替工事（以下。「本工事」という。）に適用する。

（本方式の趣旨）

第 2 条 管路設計付工事発注方式（以下、「本方式」という。）の趣旨は、管路設計と施工を一括して同一の者に発注することで、効率的かつ合理的な水道工事の実施とその工事品質の一層の向上を図るため行うものであり、受注者はその趣旨に従い本工事を実施しなければならない。

（本工事の設計及び積算）

第 3 条 本工事の土工費及び管材料費並びに布設費については、概算数量により積算したものである。設計数量は、第 4 条～第 11 条により発注者との協議のうえ確認を得た数量で確定するものとし、この確定した設計数量を実施数量（実数）として、設計（精算）変更の対象とする。

（設計及び工事準備期間）

第 4 条 本工事における設計及び工事準備期間は、60日間を見込む。

2 本方式の趣旨に則り、前項の期間内で効率的かつ迅速的に詳細設計及び工事の準備を行い、速やかに現場着手できるように努めること。

（現場立会）

第 5 条 受注者は、工事着手前に監督員とともに現場立会を行い、監督員の指示及び提示された資料に基づき、工事の起点から終点までの工事の範囲及び弁栓類や給水管等の位置の確認をしなければならない。

（現場調査）

第 6 条 受注者は前項により確認した工事範囲の測量を行い試掘する場合は、試掘計画書（位置図、保安図、地下埋設物確認書等）を提出のうえ実施すること。なお、掘削については原則人力とし掘削中は地下埋設物に十分注意し損傷を与えないようにしなければならない。なお、調査にあたっては事前に当該施設管理者に埋設物の位置の確認や現地立会を求め実施すること。

2 現場調査の結果は、記録写真、図面に整理するとともに管路設計図に反映しなければならない。

（管路設計図等の作成）

第 7 条 受注者は、施工に必要な管割図や土工図等の管路設計図を原則 CAD にて作成し社内検査を経たうえで、工事打合せ簿にて監督員と協議しなければならない。

2 受注者は、協議のうえ確認を得た管路設計図を基に算出された詳細数量計算表を EXCEL データで提出しなければならない。

3 受注者は、協議のうえ確認を得た管路設計図は電子データにて監督員に提出しなければならない。

（施工計画）

第 8 条 受注者は、協議のうえ確認を得た管路設計図の数量を施工計画に反映させること。なお施工計画書は工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出しなければならない。

2 受注者は、施工計画書の提出後、施工計画に基づき速やかに工事を着手しなければならない。

（施工中の変更）

第 9 条 施工中に管路設計図を変更せざるを得ない必要が生じた場合は、その都度監督員と協議を行い工事完了時における実施数量をもって設計（精算）変更を行う。

2 受注者は施工中の変更が生じないよう第 5 条及び第 6 条について遵守すること。なお、十分に事前確

認等が行われていないことが判明した場合は、変更せざるを得ない必要が生じた事項であっても設計（精算）変更の対象外とする。

（管路設計に係る基本事項）

第 10 条 管路設計については、次の基本事項に基づき行うこととする。

- (1) 管路設計を行うにあたっては、監督員と密に打ち合わせを行い齟齬や手戻り等が生じないように実施すること。
- (2) 管路の管種、口径、施工延長は本市が作成した平面図による。
- (3) 管路の布設位置及び埋設深度は本市が作成した標準断面図によるものとするが、現場調査により相違が認められる場合は、その限りではない。
- (4) 土工及び舗装復旧面積、並びに舗装復旧断面については本市が作成した標準土工図及び舗装展開図によるものとするが、現場調査により相違が認められる場合は、その限りではない。
- (5) 管路の設計水圧は 0.75Mpa とすること。
- (6) 仕切弁は原則、GX 形ソフトシール仕切弁（受挿し又は両受、φ75 mm 以上）とすることとし、弁筐や鉄蓋は路面荷重 25 t 対応とすること。
- (7) 弁栓類の設置位置は、本市が作成した平面図によること。
- (8) フランジは極力使用しないこととするが、やむを得ない場合、GF-RF 形の接合方式とすること。
- (9) 管割図の作成にあたっては、管切管表を用いて管材料を効率よく使用し残管を極力なくすこと。
- (10) GX 形ダクティル鉄管については切管の挿し口加工は原則行わず、P-LINK または G-LINK による接合を優先とすること。
- (11) 断水工法または不断水工法、その他特殊な工法を採用する場合は、監督員と協議をすること。
- (12) その他本工事で使用する管材料の種類、構造、形状等については概略設計による。
- (13) 管割図の作成にあたっては以下のマニュアル等を参考とすること。
  - ・「ダクティル鉄管路 配管設計標準マニュアル」、「GX 形ダクティル鉄管管路の設計」（一般財団法人日本ダクティル鉄管協会が発行）
  - ・その他の管種は、監督員との打ち合わせによる。

（設計費用）

第 11 条 本工事の概算設計には管路設計に要する設計費用として「管路設計図等作成費」を計上している。その内訳は次のとおりである

- (1) 設計種類 開削工法による配水管設計
- (2) 設計区分 管路設計図作成及び数量計算書作成
- (3) 費用内訳 「管路設計図作成」及び「数量計算書作成」に係る費用。

設計に要する諸経費は、本工事の現場管理費及び一般管理費に含む。

- (4) その他 「管路設計図作成」は、本特記第 7 条によるもので、本市が作成した図面以外で受注者が施工に必要な管割図や土工図、その他の図面を作成することをいう。また「数量計算作成」は、本特記第 7 条によるもので、作成した図面に基づき、工事に必要な数量すべての計算で詳細数量計算表を作成することをいう。

（技術者の配置）

第 12 条 受注者は、管路設計を実施するにあたり公益社団法人日本水道協会に登録された配水管技能者のうち配管技能者（耐震）を管路設計に携わらせること。なお、管路設計のみの下請は不可とする。

（モニタリング調査への協力）

第 13 条 受注者は、本方式の実施に係わるモニタリング調査等に協力すること。

（その他の事項）

第 14 条 その他の事項については、以下のとおりとする。

- (1) 本特記に定めのない事項については、別途定める特記仕様書によるものとする。
- (2) CAD のファイル形式については「JWW」とする。
- (3) その他本方式の実施にあたって疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議すること。

別紙 3

会津若松市上下水道局 仕切弁等操作にかかる特記事項

(適用)

第 1 条 本特記は「会津若松市上下水道局発注の水道工事における仕切弁等操作要領」により、受注者が仕切弁等操作を実施する工事（以下、「本工事」という。）に適用する。

(定義)

第 2 条 この特記における用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- 1 「水道工事」 会津若松市上下水道局が発注する工事のうち、導送配水管の布設又は布設替工事及び浄水場等の構造物工事における場内配管工事をいう。
- 2 「発注者」 工事を発注した会津若松市上下水道事業管理者（以下、「管理者」という）をいう。
- 3 「受注者」 水道工事を受注し工事請負契約を締結した者をいう。
- 4 「監督員」 会津若松市工事請負契約約款第 9 条にて定めた者をいう。
- 5 「弁操作」 充水作業、洗管作業、切替作業といった一連の仕切弁操作作業と事前広報、濁水発生時の処理（濁水排水、応急給水）を指す。
- 6 「仕切弁」 発注者が指定するφ50mm 以上の配水管の弁（型式問わない）及び消火栓、空気弁（付帯する弁も含む）をいう。
- 7 「弁操作のリスク」 弁操作によって発生が想定される濁水（赤水等）、減断水などの事象や、弁操作を起因とする苦情を指す。

(基本事項)

第 3 条 弁操作については、次の基本事項に基づき行うこととする。

- 1 弁操作は、別に定める「弁操作マニュアル」の例により行わなければならない。
- 2 受注者は、操作する仕切弁の位置や弁筐内の状態などを事前に確認し、弁操作に支障がある場合は、監督員と協議を行い、必要により改善処置をしなければならない。
- 3 受注者は様式 3-1 の水道工事弁操作作業計画書（以下、「作業計画書」という。）を事前に監督員に提出し、発注者の承諾を得た後に弁操作を実施しなければならない。
- 4 弁操作の事前広報については、作業計画書により受注者が広報を実施する。
- 5 弁操作のリスクについては、作業計画を作成した時点において事前に想定し、受注者はその想定にあった対応を事前に準備しなければならない。万が一、リスクが発生した場合はリスク解消に向けて、受発注者双方が協力し、速やかに対応しなければならない。
- 6 受注者は、弁操作終了後、様式 3-2 の水道工事弁操作作業報告書（以下、「作業報告書」という。）を速やかに提出しなければならない。
- 7 金曜日、官公庁閉庁日及び祝日の前日（以下、「制限日」という。）は、弁操作を原則行ってはならない。なお工程上やむを得ず、制限日に弁操作を実施せざるを得ない場合については、監督員と十分協議の上、発注者の承諾を得なければならない。
- 8 受注者は弁操作を作業計画書により、主体的に実施しなければならない。

(責任者等の配置)

第 4 条 受注者は、次の各号により責任者等を配置すること。

- 1 弁操作を実施するにあたり弁操作責任者（以下、「責任者」という。）を配置しなければならない。
- 2 責任者については、作業計画書により発注者の承諾を得た者とする。
- 3 弁操作は責任者を含め、複数人で実施すること。
- 4 弁操作については、公益社団法人日本水道協会に配水管技能者（耐震）として登録のある者又は日本ダクタイル鉄管協会主催の耐震継手に関する講習会等を受講した者を携わらせること。なお、責任者が兼ねることもできる。

- 5 弁操作並びに責任者については下請負人から選任することができる。ただし、本工事の配管工事を施工した者でなければならない。
- 6 責任者は、作業計画書により主体的に作業しなければならない。

（弁操作の内容）

第 5 条 弁操作の作業内容については、以下のとおり区分する。

- 1 「充水作業」 埋設完了後に、管内に初めて水道水を充満させる作業をいう。
- 2 「洗管作業」 工事品質管理基準で定める水質要件を満たすために、捨水等により管内を洗浄する作業をいう。
- 3 「切替作業」 布設工事における供用開始するための作業、または布設替工事において旧管路を廃止し、新しい管路の供用開始をするために系統を変える作業等をいう。なお、いずれの場合であっても充水洗管作業後に実施しなければならない。

（その他の事項）

第 6 条 その他の事項については、以下のとおりとする。

- 1 受注者は、弁操作に係わるモニタリング調査等に協力すること。
- 2 弁操作の実施にあたって疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議すること。

## 水 道 工 事 弁 操 作 作 業 計 画 書

上水道施設課長

届出者名  
(届出印省略)

下記の作業計画により弁操作を実施しますので計画書を提出します。

## 記

1. 工事番号・工事名	第 号 工事
2. 工事箇所	
3. 作業の目的・種類	<input type="checkbox"/> 充水作業 ・ <input type="checkbox"/> 洗管作業 ・ <input type="checkbox"/> 切替作業 のため。
4. 弁操作責任者名 緊急連絡先	氏名： _____ TEL： _____ (水道工事経験年数：約 年)
5. 作業期間・日時	年 月 日 午前・午後 時 分から 年 月 日 午前・午後 時 分まで
6. 操作する弁の位置	位置図を添付すること。(弁マーク・弁番号を記載すること。)
7. 操作する仕切弁の 種類・口径と操作 順序 <small>(添付位置図とあわせること。) (各番号は操作順序で付すること。)</small>	弁番号① ソトシル弁 ( 形)、φ mm、回転数 回 弁番号② 青銅弁 ( 形)、φ mm、回転数 回 弁番号③ 弁 ( 形)、φ mm、回転数 回
8. 想定される影響と その範囲	○想定される影響 ( 減断水 ・ 濁水 ・ その他 ) ○想定影響範囲： _____ 地内 (添付位置図に明示のこと。) 約 _____ 戸 (集合住宅は1棟1戸とする)
9. 影響発生時の 対応方法 <small>(行う作業すべてにチェックすること。)</small>	<input type="checkbox"/> 排水弁や消火栓により排水する。 <input type="checkbox"/> 応急給水を実施する。 <input type="checkbox"/> 広報をする。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
10. 影響発生時の 作業人員配置数 <small>(上記9.の作業とあわせること。)</small>	<input type="checkbox"/> 排水弁 (消火栓) 操作： _____ 名 作業主任者名 _____ <input type="checkbox"/> 応急給水作業： _____ 名 作業主任者名 _____ <input type="checkbox"/> 広報作業： _____ 名 作業主任者名 _____
11. 事前広報の実施の 方法	<input type="checkbox"/> 文書にて想定影響範囲の各戸に広報を行う。 <input type="checkbox"/> 回覧板にて想定影響範囲の町内会に広報を行う。 <input type="checkbox"/> その他の方法 ( )

## 水道工事弁操作作業報告書

上水道施設課長

届出者名  
(届出印省略)

令和 年 月 日に実施しました弁操作について、報告書を提出します。

## 記

1. 工事番号・工事名	
2. 工事箇所	
3. 作業の種類	<input type="checkbox"/> 充水作業 ・ <input type="checkbox"/> 洗管作業 ・ <input type="checkbox"/> 切替作業
4. 作業をした 期間・日時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分から 令和 年 月 日 午前・午後 時 分まで
5. <input type="checkbox"/> 充水作業状況 <small>※充水作業時記載</small>	<input type="radio"/> 操作した弁番号 ( ) <input type="radio"/> 操作後の配水運用状況 ( <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ) ・ 異常ありの場合の内容 ( ) ・ 異常ありの処置内容 ( )
6. <input type="checkbox"/> 排水作業状況 <small>※洗管作業時記載</small>	<input type="radio"/> 排水箇所 (住所及び弁番号) ( 地先、 弁番号 ) <input type="radio"/> 排水量 ( L/S ) <input type="radio"/> 排水後の水質の状況 ( 濁り <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ) ( pH ) ( 残留塩素 ppm ) <input type="radio"/> 排水先の状況 ( <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ) ・ 異常ありの場合の内容 ( ) ・ 異常ありの処置内容 ( ) <input type="radio"/> 操作後の配水運用状況 ( <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ) ・ 異常ありの場合の内容 ( ) ・ 異常ありの処置内容 ( )
7. <input type="checkbox"/> 切替作業状況 <small>※切替作業時記載</small>	<input type="radio"/> 操作した弁番号 ( ) <input type="radio"/> 操作後の配水運用状況 ( <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ) <input type="radio"/> 異常ありの場合の内容 ( ) <input type="radio"/> 異常ありの処置内容 ( )

備考 1. 対象となる項目の□に✓を入れること。（□をクリックすると✓が入ります）  
2. 各作業において異常があった場合は、速やかに監督員に連絡し、改善処置を実施すること。  
3. 給水袋を使用した場合は、使用枚数についても報告すること。

# 総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	B7 会津若松市上下水道局 実施設計書 当初 00000000110 0 1 実施単価 51 L (会津若松1) 地区 00-07.08.15(0)		
諸経費体系 ファイル名	9 水道工事 00000000110重要給水施設配水管整備事業_高野町中沼配水管布設替工事_当初		
	当 世 代		前 世 代
前払率 工種区分 冬期割増 施工地域補正 積雪寒冷地補正 現場環境改善費 契約保証補正 週休二日補正 工期日数 冬期日数	40 01 開削・小口径推進工事等 00 冬期割増なし 06 一般交通影響あり2 04 4級地 00 必要なし 01 金銭的保証 02 4週8休以上(月単位) 186 37		

## 工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		



# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
交付金対象						Y1999
配水管布設替工外						Y2999
土工費						Y3999
		1	式			工種 第0001号表
資材費						Y3999
		1	式			工種 第0002号表
布設費						Y3999
		1	式			工種 第0003号表
交通誘導警備員						Y2999
交通誘導警備員						Y3999
		1	式			工種 第0004号表
単独費						Y1999
第2号排水管工						Y2999
土工費						Y3999
		1	式			工種 第0005号表
資材費						Y3999
		1	式			工種 第0006号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
布設費					Y3999
	1	式			工種 第0007号表
交通誘導警備員					Y2999
交通誘導警備員					Y3999
	1	式			工種 第0008号表
直接工事費					
安 全 費					Z0008
		式			
工事標示板加算額					Y2999
	1	式			工種 第0009号表
技術管理費					Z0005
		式			
通水試験費					Y2999
	1	式			工種 第0010号表
管路設計費					Y2999
	1	式			工種 第0011号表
施工情報システム					Y2999
	1	式			工種 第0012号表
仕切弁操作費					Y2999
	1	式			工種 第0013号表
共通仮設費 対象額算出					
		式			

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費（率分）					Z0013
		式			
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費 対象額算出					
		式			
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費 対象額算出					
		式			
一般管理費等					
		式			
工事価格					
工事価格（改め）					
消費税相当額					
		式			
工事費計					

# 工 種 明 細 表

頁0-0005

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>土工費</b> Y3999					工種 第0001号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	401.4	m			SPD321 00 070815 施工 第0 -0001号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 舗装厚 0cm超え10cm以下	120.4	m2			SZA231 00 070815 施工 第0 -0002号表
機械掘削工 加ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	114.7	m3			SZA211 00 070815 施工 第0 -0004号表
機械埋戻工(山砂) クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) バックホ 排ガス対策型(第2次基準値)使用	50.1	m3			V5002 00 070815 施工 第0 -0005号表
機械埋戻工(再生碎石) クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) バックホ 排ガス対策型(第2次基準値)使用	60.5	m3			V5012 00 070815 施工 第0 -0008号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 密粒度(20) 再生アスファルト合材を使用する	120.4	m2			SZA320 00 070815 施工 第0 -0009号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 舗装厚 0cm超え10cm以下	10.1	m2			SZA231 00 070815 施工 第0 -0002号表
機械掘削工 加ラ型 山0.28m3(平0.2m3) 再掘削	8.5	m3			SZA211 00 070815 施工 第0 -0004号表
機械埋戻工(山砂) クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) バックホ 排ガス対策型(第2次基準値)使用 再掘削	3.4	m3			V5002 00 070815 施工 第0 -0005号表
機械埋戻工 加ラ型 山0.28m3(平0.2m3) 再掘削	5.1	m3			SZA221 00 070815 施工 第0 -0006号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 密粒度(20) 再生アスファルト合材を使用する 再掘削	10.1	m2			SZA320 00 070815 施工 第0 -0009号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=10.8km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	117.5	m3			SZA260 00 070815 施工 第0 -0012号表
整地 残土受け入れ地での処理	117.5	m3			SPA109 00 070815 施工 第0 -0014号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=9.1km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	6.5	m3			SZA260 00 070815 施工 第0 -0015号表

## 工 種 明 細 表

頁0-0006

[illegible]

# 工 種 明 細 表

頁0-0007

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
資材費 Y3999					工種 第0002号表
ダクタイル鋳鉄管（内面珪粉粉体塗装） GX形S種 150mm×5m	35.78	本			TZ0143 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形二受T字管 150×150	0.64	個			TZ1606 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形二受T字管 150×100	0.35	個			TZ1605 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形二受T字管 150×75	0.17	個			TZ1604 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形F付T字管 150×75 7.5K	0.24	個			TZ1773 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形曲管 150×5 5/8°	1.04	個			TZZ1842 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形曲管 150×11 1/4°	1.04	個			TZ1712 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形曲管 150×22 1/2°	1.89	個			TZ1711 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形曲管 150×45°	3.83	個			TZ1710 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形曲管 150×90°	2.06	個			TZ1709 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形乙字管 150×300H	0.57	個			TZ1863 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形受挿し片落管 150×100	0.52	個			TZ1632 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形管栓 150（直管用）	0.12	個			TZZ1882 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） GX形管栓 150（異形管用）	0.07	個			TZZ1892 00 070815

# 工 種 明 細 表

頁0-0008

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） GX形継ぎ輪 150	1.04	個			TZ1823 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） GX形ライナ 150	13.17	個			TZ1913 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） GX形接合材料 150	4.28	個			TZ1903 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） GX形切管ユニット(G-Link) 150	10.66	個			TZ1943 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） GX形切管ユニット(P-Link) 150	0.07	個			TZ1933 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） K形挿し受片落管 150×100	0.17	個			TZ0262 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） 管柱帽 150	0.47	個			TZZ0212 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪酸粉体塗装） K形継ぎ輪 150	0.07	個			TZ0523 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管特殊押輪 3DKN対応 SUS丸・ナット 150	0.29	組			TZZ5002 00 070815
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 TS-V P (HI) 75×4m JIS K 6742	0.4	本			TZ2157 00 070815
フランジ付ソフトシール仕切弁 FCD 内ネジ(浅埋) 75 7.5K	1	個			TZ6012 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管フランジ接合部品 (GF) SUS304丸・ナット 75 7.5K	1	組			TZZ2090 00 070815
ダクタイル鋳鉄異形管フランジ接合部品 (RF) SUS304丸・ナット 75 7.5K	1	組			TZZ2070 00 070815
塩ビ製継手 H Iエルボ 75	2	個			TZ3117 00 070815
塩ビ製継手 HIフランジ 75 7.5K	1	個			TZZ4511 00 070815



## 工 種 明 細 表

頁0-0009

[illegible]

# 工 種 明 細 表

頁0-0010

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
布設費 Y3999					工種 第0003号表
鋳鉄管吊込み据付工：機械 150	200.40	m			SZ0010 00 070815 施工 第0 -0018号表
G X形継手接合工 直管 150	35.55	口			SZ0070 00 070815 施工 第0 -0020号表
G X形継手接合工 異形管 150	4.28	口			SZ0070 00 070815 施工 第0 -0021号表
G X形継手接合工 G - L i n k ( 異形管 ) 150	10.66	口			SZ0070 00 070815 施工 第0 -0022号表
G X形継手接合工 P - L i n k ( 直管 ) 150	0.07	口			SZ0070 00 070815 施工 第0 -0023号表
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) 150	8.67	口			SZ0455 00 070815 施工 第0 -0024号表
メカニカル継手工 150 押輪	0.07	口			SZ0020 00 070815 施工 第0 -0025号表
メカニカル継手工 150 特殊押輪	0.75	口			SZ0020 00 070815 施工 第0 -0026号表
ポリエチレンスリーブ被覆工 150	200.40	m			SZ0120 00 070815 施工 第0 -0027号表
管明示テープ工：鋳鉄管 150×5000 天端明示無し エコマーク品	200.40	m			SZ0150 00 070815 施工 第0 -0028号表
管明示シート工 W150mm×50m 2倍 エコマーク品	200.40	m			V2100 00 070815 施工 第0 -0029号表
鋳鉄製仕切弁設置工(縦型) 150	1	基			SZ0550 00 070815 施工 第0 -0030号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形 1号 底板 有り	1	箇所			SZ0690 00 070815 施工 第0 -0031号表
サヤ管設置工 SGP 200	0.8	m			V3305 00 070815 施工 第0 -0032号表

# 工 種 明 細 表

頁0-0011

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ロケーティングワイヤー	200.4	m			SZ0430 00 070815 施工 第0 -0036号表
硬質塩化ビニル管据付工 75	1.7	m			SZ0300 00 070815 施工 第0 -0037号表
フランジ継手工 75(80) JWWA 7.5K	2	口			SZ0040 00 070815 施工 第0 -0038号表
TS継手工 75	5	口			SZ0310 00 070815 施工 第0 -0039号表
鋳鉄製仕切弁設置工(縦型) 100以下 75	1	基			SZ0550 00 070815 施工 第0 -0040号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形 1号 底板 有り 75	1	箇所			SZ0690 00 070815 施工 第0 -0031号表
硬質塩化ビニル管切断工 75	3	口			SZ0500 00 070815 施工 第0 -0041号表
管明示テープ工：硬質塩化ビニル管 75×4000 天端明示無し エコマーク品	2.1	m			SZ0340 00 070815 施工 第0 -0042号表
管明示シート工 W150mm×50m 2倍 エコマーク品	1.5	m			V2100 00 070815 施工 第0 -0029号表
ロケーティングワイヤー	2.1	m			SZ0430 00 070815 施工 第0 -0036号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
交通誘導警備員 Y3999					工種 第0004号表
交通誘導警備員B [0.908]	34	人			R0900 00 070815
*** 単位当たり ***	1	式			

# 工 種 明 細 表

頁0-0012

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工費 Y3999					工種 第0005号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	4.2	m			SPD321 00 070815 施工 第0 -0001号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 舗装厚 0cm超え10cm以下	1.3	m2			SZA231 00 070815 施工 第0 -0002号表
機械掘削工 加ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1.0	m3			SZA211 00 070815 施工 第0 -0004号表
機械埋戻工(山砂) クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) バックホ 排ガス対策型(第2次基準値)使用	0.4	m3			V5002 00 070815 施工 第0 -0005号表
機械埋戻工(再生砕石) クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) バックホ 排ガス対策型(第2次基準値)使用	0.6	m3			V5012 00 070815 施工 第0 -0008号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 密粒度(20) 再生アスファルト合材を使用する	1.3	m2			SZA320 00 070815 施工 第0 -0009号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=10.8km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	1.0	m3			SZA260 00 070815 施工 第0 -0012号表
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 070815 施工 第0 -0014号表
ダンプ運搬工(4t積車) 運搬距離 L=9.1km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	0.1	m3			SZA260 00 070815 施工 第0 -0015号表
側溝清掃車運搬 運搬距離 57.9km	0.03	m3			S5200 00 070815 施工 第0 -0016号表
*調整データ*		調整式			#0040
産業廃棄物処分料 AS殻	0.1				W0000
産業廃棄物処分料 切断汚泥	0.04				W0000
*** 単位当たり ***	1	式			

# 工 種 明 細 表

頁0-0013

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>資材費</b> Y3999					工種 第0006号表
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 T S - V P ( H I ) 50×4m JIS K 6742	0.7	本			TZ2156 00 070815
塩ビ製継手 HI金属入バルブソケット( 型 ) 50	1	個			TZZ4500 00 070815
塩ビ製継手 HIエルボ 50	3	個			TZ3116 00 070815
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
<b>布設費</b> Y3999					工種 第0007号表
硬質塩化ビニル管据付工 50	2.7	m			SZ0300 00 070815 施工 第0 -0043号表
T S 継手工 50	7	口			SZ0310 00 070815 施工 第0 -0044号表
硬質塩化ビニル管切断工 50	4	口			SZ0500 00 070815 施工 第0 -0045号表
管明示テープ工：硬質塩化ビニル管 50以下 天端明示無し エコマーク品	2.7	m			SZ0340 00 070815 施工 第0 -0046号表
管明示シート工 W150mm×50m 2倍 エコマーク品	2.1	m			V2100 00 070815 施工 第0 -0029号表
ロケーティングワイヤー	2.7	m			SZ0430 00 070815 施工 第0 -0036号表
G X 形継手接合工 異形管 150 押輪	1	口			SZ0070 00 070815 施工 第0 -0021号表
*** 単位当たり ***	1	式			

# 工 種 明 細 表

頁0-0014

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員 Y3999					工種 第0008号表
交通誘導警備員 B [0.908]	2	人			R0900 00 070815
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
工事標示板加算額 Y2999					工種 第0009号表
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 070815 施工 第0 -0047号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
通水試験費 Y2999					工種 第0010号表
通水試験工 給水車不使用	200.4	m			SZ1011 00 070815 施工 第0 -0048号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
管路設計費 Y2999					工種 第0011号表
管路設計詳細	1	業務			V8001 00 070815 施工 第0 -0050号表
*** 単位当たり ***	1	式			

# 工 種 明 細 表

頁0-0015

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工情報システム Y2999					工種 第0012号表
*調整データ*					#0040
		調整式			
施工情報システム 月額使用料					TZZ9300 00 070815
	2	月			
*** 単位当たり ***					
	1	式			
*****					*****
仕切弁操作費 Y2999					工種 第0013号表
弁操作費 充水作業					V9001 00 070815
	200.4	m			施工 第0 -0051号表
弁操作費 洗管作業					V9001 00 070815
	200.4	m			施工 第0 -0052号表
作業計画及び作業報告費、リスク対応費 作業計画及び作業報告費 弁操作のリスク対応費					V9002 00 070815
	1	工事			施工 第0 -0053号表
*** 単位当たり ***					
	1	式			



# 施工パッケージ内訳表

頁0-0016

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26 機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0001号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [ 0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [ 0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m ( 1 8 インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ ( 4 5 c m )	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 1				

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>舗装版直接掘削積込み工</b> SZA231 クローラ型 山 0 . 2 8 m <sup>3</sup> ( 平 0 . 2 0 m <sup>3</sup> ) 舗装厚 0 c m 超え 1 0 c m 以下	100	m <sup>2</sup>			施工 第0 -0002号表
土木一般世話役 [ 0.775]	0.42	人			R0010
普通作業員 [ 0.828]	0.63	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m <sup>3</sup> ( 平積 0 . 2 m <sup>3</sup> )	3.35	h			SZ8020 施工 第0-0003号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
A=1 クローラ型 山 0 . 2 8 m <sup>3</sup> ( 平 0 . 2 0 m <sup>3</sup> ) B=1 舗装厚 0 c m 超え 1 0 c m 以下 C=3 ハック材 排ガス対策型 ( 第 2 次基準値 ) 使用 D=1 補正なし					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0018

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械掘削工</b> SZA211 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0 -0004号表
土木一般世話役 [ 0.775]	1.90	人			R0010
普通作業員 [ 0.828]	5.00	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	11.10	h			SZ8020 施工 第0-0003号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0020

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械埋戻工</b> SZA221 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0 -0006号表
土木一般世話役 [ 0.775]	2.50	人			R0010
普通作業員 [ 0.828] 埋戻し + 締固め	6.80	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	7.60	h			SZ8020 施工 第0-0003号表
タンバ運転 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	3.00	日			SZK511 施工 第0-0007号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3)					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>タンパ運転</b> SZK511 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	1	日			施工 第0 -0007号表
特殊作業員 [ 0.769]	1.00	人			R0020
レギュラーガソリン スタンド	5.00	L			T0240
タンパ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg	1.38	供用日			K2620
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      6 0 ~ 8 0 kg B=1      運転労務数量 C=5      燃料消費量 D=1.38   賃料数量					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>機械埋戻工（再生砕石）</b> V5012 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 ( 平 0 . 2 0 m3 ) バックホ 排ガス対策型（第2次基準値）使用	100	m3			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：07年08月15日
機械埋戻工 クローラ型 山 0.28m3 ( 平 0.2m3 )	100	m3			SZA221 施工 第0-0006号表
再生骨材（骨材）クラッシャー R C - 4 0	120	m 3			T8454
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>アスファルト舗装工（人力）／車道・路肩</b> SZA320 密粒度（ 2 0 ） 再生アスファルト合材を使用する	100	m2			施工 第0 -0009号表
土木一般世話役 [ 0.775]	0.40	人			R0010 100/250
特殊作業員 [ 0.769]	0.80	人			R0020 200/250
普通作業員 [ 0.828]	1.60	人			R0030 400/250
再生材アスファルト合材 密粒度（ 2 0 ） 最大粒径 2 0 mm	12.57	t			T8415
振動ローラ運転 機 - 2 3 ハンドガイド式 0 . 5 ～ 0 . 6 t	0.40	日			SZK593 100/250 施工 第0-0010号表
振動コンパクタ運転 機 - 2 3 前進型 4 0 ～ 6 0 kg	0.80	日			SZK730 200/250 施工 第0-0011号表
諸雑費	6.00	%			#09
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=5 仕上り厚（ cm ） B=4 密粒度（ 2 0 ） C=1 混合 A S 使用しない D=3 瀝青材散布なし E=2 砂散布が不要					
F=2 再生アスファルト合材を使用する					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き



# 施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>振動ローラ運転</b> SZK593 機 - 2 3 ハンドガイド式 0.5 ~ 0.6 t	1	日			施工 第0 -0010号表
特殊作業員 [ 0.769]	1.00	人			R0020
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	3.00	L			T0250
振動ローラ [ハンドガイド式] 質量 0.5 ~ 0.6 t	1.23	供用日			MD130
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      ハンドガイド式 0.5 ~ 0.6 t B=3      燃料消費量 C=1.23   機械損料数量					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
振動コンパクト運転 SZK730 機 - 2 3 前進型 4 0 ~ 6 0 kg	1	日			施工 第0 -0011号表
特殊作業員 [ 0.769]	1.00	人			R0020
レギュラーガソリン スタンド	5.00	L			T0240
振動コンパクト [ 前進型 ] 質量 4 0 ~ 6 0 kg	1.40	供用日			MD180
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 前進型 4 0 ~ 6 0 kg B=5 燃料消費量 C=1.4 機械損料数量					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0026

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ダンプトラック運転</b> SZK506 機 - 2 2 4 t 積級	1	日			施工 第0 -0013号表
運転手 (一般) [ 0.793]	1.00	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	32.00	L			T0250
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	1.29	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好  【 損料表 】	1.29	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2      4 t 積級 B=1      補正なし C=1      タイヤの損耗状態 良好 D=1      運転労務数量 E=32     燃料消費量					
F=1.29    機械損料数量					

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>整地</b> SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価：        123.38                      機械構成比：    23.13%    労務構成比：    51.64%    材料構成比：    25.23%    市場単価構成比：    0.00%			施工 第0 -0014号表 1 m3	
バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 8 m3 ( 平積 0 . 6 m3 ) K9203		23.13%	バックホウ [ クローラ型 ] 賃料 TPK9203	
運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ] R0120		51.64%	運転手 ( 特殊 ) TPR0120	
軽油 ミニローリー ( パトロール給油 ) T0250		25.23%	軽油 1 . 2 号   パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1        残土受入れ地での処理 D=1        土木工事標準積算基準    - 1    - 2 0				

# 施 工 内 訳 表

頁0-0029

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0030

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 57.9km	100	m3			施工 第0 -0016号表
普通作業員 [ 0.828]	17.857	人			R0030 100/5.6
側溝清掃車運転 機 - 1 9 フロワ式 9 . 0 m 3	17.857	日			SK921 100/5.6 施工 第0-0017号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=57.9 運搬距離 ( km ) C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	1	日			施工 第0 -0017号表
運転手 (一般) [ 0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      ブロワ式 9 . 0 m 3 B=1      運転労務数量 C=84     燃料消費量 D=1      機械損料数量					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>鋳鉄管吊込み据付工：機械</b> SZ0010 1 5 0	10	m			施工 第0 -0018号表
配管工 [ 0.764 ]	0.09	人			R0300 0.09*1
普通作業員 [ 0.828 ]	0.15	人			R0030 0.15*1
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	1.34	h			SZ8060 1.34*1 施工 第0-0019号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=3 1 5 0 C=1 少ない D=1 良好					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クレーン付トラック運転 SZ8060 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	1	h			施工 第0 -0019号表
運転手 ( 特殊 ) [ 0.778]	0.17	人			R0120
軽油 ミニローリー ( バトロール給油 )	5.30	L			T0250
トラック [ クレーン装置付 ] 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	1.00	h			M0343
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=2 4 t 積 2 . 9 t 吊					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>G X 形継手接合工</b> SZ0070 直管 1 5 0	1	口			施工 第0 -0020号表
配管工 [ 0.764 ]	0.05	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.05	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1          直管 B=3          1 5 0					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>G X 形継手接合工</b> SZ0070 異形管 1 5 0	1	口			施工 第0 -0021号表
配管工 [ 0.764 ]	0.06	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.06	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=2          異形管 B=3          1 5 0					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>G X形継手接合工</b> SZ0070 G - L i n k ( 異形管 ) 1 5 0	1	口			施工 第0 -0022号表
配管工 [ 0.764 ]	0.06	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.06	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
割増					+00
*** 単位当たり ***	1	口			
A=4      G - L i n k ( 異形管 ) B=3      1 5 0					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
G X形継手接合工 SZ0070 P - L i n k (直管) 1 5 0	1	口			施工 第0 -0023号表
配管工 [ 0.764 ]	0.05	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.05	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
割増					+00
*** 単位当たり ***	1	口			
A=3 P - L i n k (直管) B=3 1 5 0					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>鋳鉄管切断工(エンジンカッター)</b> SZ0455 1 5 0	1	口			施工 第0 -0024号表
特殊作業員 [ 0.769]	0.04	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	0.08	人			R0030
エンジンカッター損料	0.04	日			TZ8252
諸雑費	30.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1          切断 B=4          1 5 0					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0038

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手工 SZ0020 1 5 0 押輪	1	口			施工 第0 -0025号表
配管工 [ 0.764 ]	0.06	人			R0300 0.06*1
普通作業員 [ 0.828 ]	0.06	人			R0030 0.06*1
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 継手 B=3 1 5 0 C=1 普通継手 D=1 押輪 E=0 押しボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ)					
F=0 T頭ボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ) G=1 少ない H=1 良好					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0039

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手工 SZ0020 1 5 0 特殊押輪	1	口			施工 第0 -0026号表
配管工 [ 0.764 ]	0.08	人			R0300 0.06*1.3
普通作業員 [ 0.828 ]	0.08	人			R0030 0.06*1.3
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 継手 B=3 1 5 0 C=1 普通継手 D=2 特殊押輪 E=6 押しボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ)					
F=6 T頭ボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ) G=1 少ない H=1 良好					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ポリエチレンスリーブ被覆工</b> SZ0120 1 5 0	100	m			施工 第0 -0027号表
配管工 [ 0.764 ]	0.35	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.35	人			R0030
ポリエチレンスリーブ 1 5 0 x 6 . 0 m	120.00	m			TZ8014
固定用ゴムバンド 1 5 0	180.00	本			TZ8074
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3            1 5 0 B=1            固定用ゴムバンド C=0            ポリエチレンスリーブ割増係数 D=0.25        固定バンド割増係数					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0041

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>管明示テープ工：鋳鉄管</b> SZ0150 150×5000 天端明示無し	100	m			施工 第0 -0028号表
普通作業員 [0.828]	0.11	人			R0030
管明示テープ（印刷表示付） W50mm×t0.15mm 粘着 エコマーク品	63.70	m			TZ7112
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 B=63.7 C=2 150×5000 天端明示無し 管明示テープ数量（m） ビニル製・印刷表示付 W50mm×t0.15mm 粘着					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>管明示シート工</b> V2100 W150mm×50m 2倍 エコマーク品	100	m			施工 第0 -0029号表 特単単価適用日：07年08月15日
普通作業員 [0.828]	0.4	人			R0030
管明示シート（折込み式） 巾150mm エコマーク品	100	m			TZZ9000
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>鋳鉄製仕切弁設置工(縦型)</b> SZ0550 1 5 0	1	基			施工 第0 -0030号表
配管工 [ 0.764 ]	0.04	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.06	人			R0030
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	0.49	h			SZ8060 施工 第0-0019号表
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1      縦型 B=3      1 5 0 C=1      設置					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>ねじ式弁筐設置工</b> SZ0690 A、B 形 1 号 底版 有り	1	箇所			施工 第0 -0031号表
普通作業員 [ 0.828 ]	0.04	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1      A、B 形 1 号 B=2      底版 有り ( A、B 形の場合のみ選択可 ) C=1      設置					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0043

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サヤ管設置工 V3305 S G P 2 0 0	10	m			施工 第0 -0032号表 特単単価適用日：07年08月15日
掘削 土砂 現場制約あり	0.37	m3			SPA101 施工 第0-0033号表
土砂等運搬 現場制約あり 人力	0.37	m3			SPA105 施工 第0-0034号表
配管用炭素鋼管（黒管） 200	10	m			TZZ9056
鋼管吊込み据付工：人力 2 0 0	10	m			SZ0215 施工 第0-0035号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
掘削 SPA101 土砂 標準単価：        6,214                      機械構成比：        0.00%    労務構成比：    100.00%    材料構成比：        0.00%    市場単価構成比：    0.00%	現場制約あり		施工   第0 -0033号表 1	m3
普通作業員 [0.828]                      R0030		100.00%	普通作業員                      TPR0030	
***   単位当たり   ***				
A=1        土砂 B=4        現場制約あり J=1        土木工事標準積算基準        - 1        - 7				

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0045

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>土砂等運搬</b> SPA105 現場制約あり 標準単価：      5,573.5                      機械構成比：	人力 18.57%      労務構成比：      72.35%		施工 第0 -0034号表 1 m3 0.00%	
MA401 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	18.57%		TPMA401 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手 (一般) [ 0.793 ]	72.35%		TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)	9.08%		TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3      現場制約あり B=7      人力 C=1      土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1      DID区間なし E=24     11.0km以下				
F=1      土木工事標準積算基準      - 1      - 1 3				

# 施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>鋼管吊込み据付工：人力</b> SZ0215 2 0 0	10	m			施工 第0 -0035号表
配管工 [ 0.764 ]	0.35	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.40	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=6 2 0 0					
*****					
<b>ロケーティングワイヤー</b> SZ0430	100	m			施工 第0 -0036号表
普通作業員 [ 0.828 ]	0.10	人			R0030
ロケーティングワイヤー(カーボン入導電柱ゴム被覆) 4.4mm	110.00	m			TZ7120
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>硬質塩化ビニル管据付工</b> SZ0300 7 5	10	m			施工 第0 -0037号表
配管工 [ 0.764 ]	0.10	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.18	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=8 7 5					
*****					
<b>フランジ継手工</b> SZ0040 7 5 ( 8 0 ) J W W A 7 . 5 K	1	口			施工 第0 -0038号表
配管工 [ 0.764 ]	0.06	人			R0300 0.06*1
普通作業員 [ 0.828 ]	0.06	人			R0030 0.06*1
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 継手 B=1 J W W A 7 . 5 K C=2 7 5 ( 8 0 ) D=4 取替ボルト数					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き



# 施 工 内 訳 表

頁0-0048

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
T S継手工 SZ0310 7 5	2	口			施工 第0 -0039号表
配管工 [ 0.764 ]	0.04	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.04	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 合 計 ***	2	口			
*** 単位当たり ***	1	口			
A=8            7 5					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0049

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>鋳鉄製仕切弁設置工(縦型)</b> SZ0550 1 0 0 以下	1	基			施工 第0 -0040号表
配管工 [ 0.764 ]	0.03	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.05	人			R0030
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	0.40	h			SZ8060 施工 第0-0019号表
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 縦型 B=1 1 0 0 以下 C=1 設置					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>硬質塩化ビニル管切断工</b> SZ0500 7 5	1	口			施工 第0 -0041号表
配管工 [ 0.764 ]	0.02	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.02	人			R0030
諸雑費	5.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 切断 B=8 7 5					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0050

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>管明示テープ工：硬質塩化ビニル管</b> SZ0340 75×4000 天端明示無し	100	m			施工 第0 -0042号表
普通作業員 [ 0.828]	0.11	人			R0030
管明示テープ（印刷表示付） W50mm×t0.15mm 粘着 エコマーク品	33.50	m			TZ7112
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 75×4000 天端明示無し B=33.5 管明示テープ数量（m） C=2 ビニル製・印刷表示付 W50mm×t0.15mm 粘着					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>硬質塩化ビニル管据付工</b> SZ0300 50	10	m			施工 第0 -0043号表
配管工 [ 0.764]	0.10	人			R0300
普通作業員 [ 0.828]	0.18	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=7 50					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0051

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
T S継手工 SZ0310 5 0	2	口			施工 第0 -0044号表
配管工 [ 0.764 ]	0.04	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.04	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 合 計 ***	2	口			
*** 単位当たり ***	1	口			
A=7            5 0					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0052

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>硬質塩化ビニル管切断工</b> SZ0500 5 0	1	口			施工 第0 -0045号表
配管工 [ 0.764 ]	0.01	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.01	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 切断 B=7 5 0					
*****					
<b>管明示テープ工：硬質塩化ビニル管</b> SZ0340 5 0 以下 天端明示無し	100	m			施工 第0 -0046号表
普通作業員 [ 0.828 ]	0.09	人			R0030
管明示テープ（印刷表示付） W50mm × t0.15mm 粘着 エコマーク品	22.60	m			TZ7112
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 5 0 以下 天端明示無し B=22.6 管明示テープ数量（m） C=2 ビニル製・印刷表示付 W50mm × t0.15mm 粘着					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0053

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0047号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 2 4					
*****					
通水試験工 SZ1011 給水車不使用	1	m			施工 第0 -0048号表
通水試験工 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1.00	日			SZ1010 施工 第0-0049号表
m当たり		m			+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5 給水車不使用					

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0054

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0055

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>管路設計詳細</b> V8001	1	業務			施工 第0 -0050号表 特単単価適用日：07年08月15日
主任技師 (内業) [ 5 5 % ]	0.268	人			R5430
技師 ( A ) (内業) [ 5 5 % ]	0.497	人			R5440
技師 ( B ) (内業) [ 5 5 % ]	1.185	人			R5450
技師 ( C ) (内業) [ 5 5 % ]	1.185	人			R5460
技術員 (内業) [ 5 5 % ]	0.879	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	業務			



# 施 工 内 訳 表

頁0-0056

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>弁操作費</b> V9001 充水作業	1,000	m			施工 第0 -0051号表 特単単価適用日：07年08月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	1.0	人			R1020
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	1.0	人			R1040
測量補助員 (外業) [ 6 5 % ]	2.0	人			R1090
諸雑費	3	%			#01
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0057

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>弁操作費</b> V9001 洗管作業	1,000	m			施工 第0 -0052号表 特単単価適用日：07年08月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	1.0	人			R1020
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	1.0	人			R1040
測量補助員 (外業) [ 6 5 % ]	2.0	人			R1090
諸雑費	3	%			#01
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
<b>作業計画及び作業報告費、リスク対応費</b> V9002 作業計画及び作業報告費 弁操作のリスク対応費	1	工事			施工 第0 -0053号表 特単単価適用日：07年08月15日
土木一般世話役 [ 0.775 ]	1.3	人			R0010
配管工 [ 0.764 ]	0.4	人			R0300
普通作業員 [ 0.828 ]	0.4	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	工事			

00000000110

会 津 若 松 市 上 下 水 道 局

金抜き

# 数量計算書

工種・工区名「配水管布設替工・第1号排水工」

[土工](交付金対象)

上段:当初設計  
下段:変更設計

工 種	規 格 等	単位	設計数量	計 算	計算結果
舗装版切断工	AS t=5cm	m	401.4	$(198.0+1.2+1.5)*2$	401.40
舗装版取壊工	AS t=5cm BH0.28m3	m2	120.4	$(198.0+1.2+1.5)*0.60$	120.42
機械床堀工	BH0.28m3	m3	114.7	$198.0*0.57+1.2*0.84+1.5*0.53$	114.66
機械埋戻工	BH0.28m3 山砂	m3	50.1	$198.0*0.25+1.2*0.25+1.5*0.22$	50.13
機械埋戻工	BH0.28m3 RC-40	m3	60.5	$198.0*0.30+1.2*0.57+1.5*0.30$	60.53
仮復旧工	再生密粒度AS20 t=5cm 人力	m2	120.4	$(198.0+1.2+1.5)*0.60$	120.42
仮復旧取壊工 (再掘削)	AS t=5.0cm BH0.28m3	m2	10.1	$0.78*(14-1)$	10.14
機械床堀工 (再掘削)	BH0.28m3	m3	8.5	$0.65*(14-1)$	8.45
機械埋戻工 (再掘削)	山砂 BH0.28m3	m3	3.4	$0.26*(14-1)$	3.38
機械埋戻工 (再掘削)	充用土(RC-40) BH0.28m3	m3	5.1	$0.39*(14-1)$	5.07
仮復旧工 (再掘削)	人力施工 再生密粒度AS20 t=5cm	m2	10.1	$0.78*(14-1)$	10.14

# 数量計算書

工種・工区名「配水管布設替工・第1号排水管工」

[土工](交付金対象)

上段:当初設計  
下段:変更設計

工 種	規 格 等	単位	設計数量	計 算	計算結果
残土運搬工	機械積込 BH0.28m3 DT4t L10.8km	m3	117.5	114.66+8.45-5.07/0.9	117.47
残土受入地での処理	整地	m3	117.5	117.47	117.47
産廃運搬工	アスファルト 機械積込 BH0.28m3 DT4t L=9.1km	m3	6.5	120.42*0.05+10.14*0.05	6.52
産廃運搬工	切断汚泥 L=57.9km	m3	3.0	401.40/203*1.8*0.85	3.02
産廃処分	再生資源化処理AS	t	15.3	6.52*2.35	15.32
産廃処分	汚泥中間処理	t	4.2	3.02*1.4	4.22

# 数量計算書

工種・工区名「配水管布設替工・第1号排水工」

[資材](交付金対象)

上段:当初設計  
下段:変更設計

工種・区間	単位	設計 数量	配水管布設替工		第1号排水管工						計
布設延長			L=200.0m (L=200.4m)		L=1.5m(L=2.1m)						
口 径			DIP (GX-S) φ 150mm		HIVP φ 75mm						
資材名			数量	計算	数量	計算	数量	計算	数量	計算	
HIVP	本	0.4			0.42	1.7/4.0					0.42
φ 75mm L=4.0m											
F型ソフトシール仕切弁	個	1			1	1					1
φ 75mm											
フランジ接合部品(GF)	組	1			1	1					1
φ 75mm											
フランジ接合部品(RF)	組	1			1	1					1
φ 75mm											
HITSエルボ	個	2			2	2					2
φ 75mm											
HITSフランジ	個	1			1	1					1
φ 75mm											
GX形両受ソフトシール仕切弁	個	1	1	1							1
φ 150mm											
仕切弁籠(小型)	基	1	1	1							1
φ 150mm											
座台(中型)	枚	1	1	1							1

# 数量計算書

工種・工区名「配水管布設替工・第1号排水管工」

[布設] (交付金対象)

上段: 当初設計

下段: 変更設計

工 種	口 径	規 格 等	単位	設計数量	計 算	計算結果
【配水管布設替工】(交付金)						
仕切弁設置工	φ 150mm	機械	基	1	1	1
仕切弁筐設置工		A、B形 1号 底板有	箇所	1	1	1
サヤ管設置工	φ 200mm	SGP	m	0.8	0.8	0.80
ロケーティングワイヤー工		材公共	m	200.4	200.4	200.40
【第1号排水管工】(交付金)						
HIVP布設工	φ 75mm	布設	m	1.7	1.7	1.70
フランジ継手工	φ 75mm	GF・RF	口	2	1+1	2
HIVP継手工	φ 75mm	TS取付	口	5	1+2*2	5
仕切弁設置工	φ 75mm	機械	基	1	1	1
仕切弁筐設置工		A、B形 1号 底板有	箇所	1	1	1
VP切断工	φ 75mm		口	3	5/2	2.50
管明示テープ取付工	φ 75mm	VP	m	2.1	2.1	2.10
管理設シート布設工	第1号排水管工	幅150mm	m	1.5	1.5	1.50
ロケーティングワイヤー工	第1号排水管工	材公共	m	2.1	2.1	2.10

# 数量計算書

工種・工区名  
[第2号排水管工]

[土工](単独費)

上段:当初設計  
下段:変更設計

工 種	規 格 等	単位	設計数量	計 算	計算結果
舗装版切断工	AS t=5cm	m	4.2	2.1*2	4.20
舗装版取壊工	AS t=5cm BH0.28m3	m2	1.3	2.1*0.60	1.26
機械床堀工	BH0.28m3	m3	1.0	2.1*0.48	1.00
機械埋戻工	BH0.28m3 山砂	m3	0.4	2.1*0.18	0.37
機械埋戻工	BH0.28m3 RC-40	m3	0.6	2.1*0.30	0.63
仮復旧工	再生密粒度AS20 t=5cm 人力	m2	1.3	2.1*0.60	1.26
残土運搬工	機械積込 BH0.28m3 DT4t L=10.8km	m3	1.0	1.00	1.00
残土受入地での処理	整地	m3	1.0	1.00	1.00
産廃運搬工	アスファルト 機械積込 BH0.28m3 DT4t L=9.1km	m3	0.1	1.26*0.05	0.06
産廃運搬工	切断汚泥 L=57.9km	m3	0.03	4.20/203*1.8*0.85	0.031
産廃処分	再生資源化处理AS	t	0.1	0.06*2.35	0.14
産廃処分	汚泥中間処理	t	0.04	0.031*1.4	0.040

# 数量計算書

工種・工区名  
「第2号排水管工」

[資材](单独費)

上段:当初設計  
下段:變更設計

[illegible]



# 数量計算書

工種・工区名  
「第2号排水管工」

[布設](单独費)

上段:当初設計  
下段:變更設計

[illegible]

# 呼び径150 GX形の標準数量(切管ユニットの場合)

凡例:   入力セル

条件

(交付金)

(1) 管路延長 L	200.4	(m)
(2) IP数	5	(箇所)
(3) 管路延長100m当たりのIP数	2.5	(箇所/100m)
(4) 比率 $\gamma$	0.865	

区分	名称	規格・寸法	単位	標準数量 100m当たり qm	数量	
					100m当たり $q = \gamma \times qm$	管路延長当たり $Q = q \times L$
材料	GX形 直管	$\phi 150 \times 5m$	本	20.64	17.85	35.78
	GX形 二受T字管	$\phi 150 \times \phi 150$	個	0.37	0.32	0.64
	GX形 二受T字管	$\phi 150 \times \phi 100$	個	0.20	0.17	0.35
	GX形 二受T字管	$\phi 150 \times \phi 75$	個	0.10	0.09	0.17
	GX形 フランジ付きT字管	$\phi 150 \times \phi 75$	個	0.14	0.12	0.24
	GX形 曲管 5 5/8°	$\phi 150$	個	0.60	0.52	1.04
	GX形 曲管 11 1/4°	$\phi 150$	個	0.60	0.52	1.04
	GX形 曲管 22 1/2°	$\phi 150$	個	1.09	0.94	1.89
	GX形 曲管 45°	$\phi 150$	個	2.21	1.91	3.83
	GX形 曲管 90°	$\phi 150$	個	1.19	1.03	2.06
	GX形 乙字管	$\phi 150 \times 300H$	個	0.33	0.29	0.57
	GX形 受挿し片落管	$\phi 150 \times \phi 100$	個	0.30	0.26	0.52
	GX形 栓(直管用)	$\phi 150$	個	0.07	0.06	0.12
	GX形 栓(異形管用)	$\phi 150$	個	0.04	0.03	0.07
	GX形 継ぎ輪	$\phi 150$	個	0.60	0.52	1.04
	GX形 ライナ	$\phi 150$	個	7.60	6.57	13.17
	GX形 異形管用接合部品	$\phi 150$	組	2.47	2.14	4.28
	GX形 G-Linkセット	$\phi 150$	組	6.15	5.32	10.66
	GX形 P-Linkセット	$\phi 150$	個	0.04	0.03	0.07
	K形 挿し受片落管	$\phi 150 \times \phi 100$	個	0.10	0.09	0.17
	K形 帽(特殊押輪込)	$\phi 150$	個	0.27	0.23	0.47
	K形 継ぎ輪	$\phi 150$	個	0.04	0.03	0.07
	K形用接合部品(特殊押輪)	$\phi 150$	組	0.17	0.15	0.29
	ポリエチレンスリーブ	$\phi 150$	m	100.00	100.00	200.40
	管明示テープ	$\phi 150$	m	100.00	100.00	200.40
	管明示シート	—	m	100.00	100.00	200.40
布設	鑄鉄管布設工(機械)	$\phi 150$	m	100.00	100.00	200.40
	GX形継手接合工(直管受口)	$\phi 150$	口	20.51	17.74	35.55
	GX形継手接合工(異形管受口)	$\phi 150$	口	2.47	2.14	4.28
	GX形継手接合工(G-Link)	$\phi 150$	口	6.15	5.32	10.66
	GX形継手接合工(P-Link)	$\phi 150$	口	0.04	0.03	0.07
	鑄鉄管切断工(エンジンカッター使用)	$\phi 150$	口	5.00	4.32	8.67
	メカニカル継手接合工	$\phi 150$	口	0.04	0.03	0.07
	メカニカル継手接合工(特殊押輪)	$\phi 150$	口	0.43	0.37	0.75
	ポリエチレンスリーブ被覆工	$\phi 150$	m	100.00	100.00	200.40
	管明示テープ工	$\phi 150$	m	100.00	100.00	200.40
	管明示シート工	—	m	100.00	100.00	200.40

# ※図面作成に係る詳細設計費

【管種:ダクタイル鋳鉄管】

【管径:φ75mm～φ300mm】

	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
(県単R7.08.15)							

## 【設計延長 L=200m～300m】

実務必携歩掛P208

(1km当り標準歩掛)	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
図面作成			0.4	0.8	1.7	1.7	1.4
各種計算			0.3	0.5	1.4	1.4	0.9
計			0.7	1.3	3.1	3.1	2.3

管径補正 床付深さ補正(2.0m未満)	0.91						
延長補正	0.60						
設計条件補正	0.70						
工事案件数補正	1.00						
補正率			0.3822	0.3822	0.3822	0.3822	0.3822
補正後(1業務当り歩掛)			0.268	0.497	1.185	1.185	0.879
金額							
合計金額							

## 【補正】

- (1) 管径補正係数 = 0.91 呼び径φ150mm  
 (2) 延長補正係数 = 0.60 300m未満  
 (3) 設計条件補正係数 = 0.70 郊外、道路幅員:標準、埋設物なし 1+3+1  
 (4) 工事案件数による補正 =  $1.0+0.1*(1-1)$  ※案件数1件 = 1.00